

IV - 5 パワースカイビングカッタ

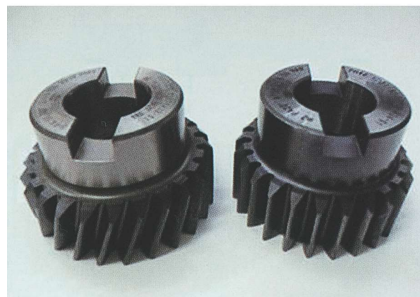
パワースカイビングでは、歯車型工具とワーク歯車をねじ歯車としてかみ合わせ、切れ刃とワークの相対運動を利用してワークを加工する加工法です。
ご要望の加工ワーク、切削環境に応じて製作致します。

用途

ホブ、ピニオン等で加工される歯車においての高能率加工。

特長

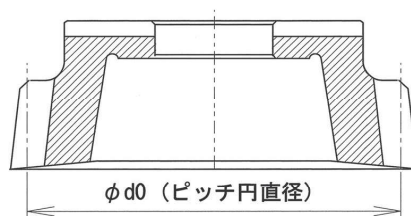
外歯車および内歯車双方を能率よく加工できる。



コニカルカッタ（テーパカッタ）

特長

ピニオンカッタ形状。（工具に逃げ角有）
ワーク共用の面で円筒タイプより汎用性高。
研ぎ直して歯形誤差有。



シリンドリカルカッタ（円筒カッタ）

特長

歯車形状。（工具に逃げ角なし）
ワーク共用に限られる。
研ぎ直しても歯形誤差無。

